

学校運営協議会議事録

校名	府立八尾北高等学校
校長名	山下 尚亮

開催日時	令和7年1月29日(水) 15:30~17:00
開催場所	府立八尾北高等学校 西館 1階 会議室
出席者(委員)	野口 幸一会長、山内 雅之副会長、福井 志朗委員 高松 一仁委員、森 英世委員、井上 敏美委員
出席者(学校)	校長・事務長・教頭・首席・生活指導部長・ガイダンス部長・自主活主担・保健指導部長・総務部長 各学年主任
傍聴者	なし
協議資料	学校運営協議会次第、学校教育自己診断の集計と考察、重点目標達成状況、 令和6年度学校経営計画及び学校評価、令和7年度学校経営計画
備考	

議題等(次第順)

1. 校長挨拶
2. 委員紹介
3. 事務局からの説明
4. 報告
(1)学校教育自己診断結果報告
(2)重点目標達成状況報告
①学習指導部 ②生活指導部 ③自主活動育成担当 ④保健指導部 ⑤ガイダンス部
⑥総務部 ⑦人権教育主担 ⑧3年 ⑨2年 ⑩1年
5. 協議
(1)令和6年度学校経営計画達成状況
(2)令和7年度学校運営策定に向けて
6. 連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

1. 挨拶
・本校では、インフルエンザの流行はなかった。これまで積み重ねたものが活きているのではないかと。
・大幅なPCのシステム変更により、年末から大幅に時間を取られる。選抜が心配。
・現在は3年生は学年末考査期間、そのあと1年生、2年生の学年末考査がある。
・課題研究発表会を今年度も開催した。次年度以降も引き続き進めていきたい。
2. 委員紹介
3. 事務局からの配付資料の説明
4. 報告
(1) 学校教育自己診断結果報告
2番、6番の項目における肯定的な回答の割合(以下肯定率)が9割を超えている→進路に関する指導は満足。
13番、肯定率91%→本校でも浸透してきている。
19番、肯定率が7.6ポイント下降している→昨年度に比べ図書館を利用する授業が少なかったかも知れない。
(1年)
14番を除き、全体的に肯定率が高い。
(2年)
4番の肯定率が92%、17番の肯定率が9.6ポイント上昇、2番の肯定率が95%と高い。
(3年)
16番の肯定率が徐々に上昇してきている。クラブ活動等で他の学校や施設との交流があるからなのではないか。
(教員)
4番の肯定率が倍近く上昇している。32番の肯定率が高いのは、授業改善推進委員会の活動によるものと考えられる。
(保護者)
3と5番の肯定率が昨年度より高い。
今後の課題は4番、12番、14番である。
これらについて、公式SNSの開設などを行い、広報活動にも力を入れているが、一層のDX化を進めていく必要がある。

(2)

①特になし

②遅刻数の減少を目標にしている。八尾北の生徒たちに届くような指導を模索している。

今年度、「遅刻するくらいなら休む」ということはあまりなかったのではないかと。一方で懲戒件数は増加している。

③学校行事の参加意識肯定率は目標に達しなかった。全員が参加する行事のあり方を考えないといけない。

④各種健診受診率100%の目標は達成できず。SC、SSWの方々が来ていただいております、協力体制を整えた。

⑤社会への扉、課題研究はがんばっている。

40期の進路に関しては紙面の通り。就職成功率86.4%は大阪府の数字と比較しても高い。

⑥公式SNS、公式動画配信サービスによる情報発信等、活発に広報活動を行った。公立学校には厳しい状況だが懸命に頑張っている。

⑦小学校、中学校への出張授業を次年度以降も継続していく。

⑧出席率は高い。遅刻数も過去最少である。しかし、球技大会の日に半分休んでいるクラスがあつて残念。

⑨社会への扉についての達成基準は満たしている。遅刻は他学年と比較して一番多い。

SNSTラブルは減っている。交通マナーも減少しているが、自転車事故は多かった。

文化祭も昨年度よりは前向きに取り組めた。

⑩懲戒案件が多い。事後指導含め丁寧に取り組みたい。一方で、挨拶はよくできている。また、学校行事も楽しんでおり、担任と生徒のコミュニケーションもよくとれている。

質問(感想も含め):

・自己診断について、清掃関連の数字が上がっているのはなぜか?

→主体の存在を明確にするために質問の仕方を変えたことが要因の1つであると思われる。

・1番の肯定率が高い。ただ、全く当てはまらないと回答した15名をしっかりと見ていきたい。

→SCの来てもらえる数を増やした。直接成果が出るかはわからないが、なんとかしていきたい。

・SC、SSWの相談件数や相談内容は?

→重点校に認定されているので、来てもらえることは多い。1日最大6件で、0件のときはない。相談内容は友人関係が圧倒的に多い。

「ずっと仲良かった友達がそっけない」等の内容が多め。友人に許容してほしいと思うことが多い。

本校はSCが週1回5時間勤務→来年度6時間勤務。不登校生徒に関するアプローチとしても有効である。

・クラブ加入率が思っているより高くないので、高くなると良い。

→体験入部は学校行事で全員参加となっている。公式SNS等でさらに情報を発信できれば良いと考えている。

・地域連携、人権教育、共生について、人権教育の項目と外国籍生徒との交流の数値が高いのは良いこと。出前授業やオアシス生徒との交流が非常に良かった。

桂中学校にとっては高校といえば「八尾北高校」であるという認識である。現役生との交流を増やしてほしい。

5.

(1)

・大きな変化は少なめである。学校への評価は低くはないが、頑張っていきたい。

・生徒対象の学校教育自己診断における、「1人1台端末を効果的に活用」の肯定率が91.5%と思っている以上に高かった。小中学校のGIGAスクール構想も同様に、PCの活用を進めている。

・SC重点配置校認定により、SCを様々な場面で活用できている。

・オアシスの運営は個人の負担に頼っている部分があるため、組織として運営できるようなシステムを作っているところである。

・八尾北向上委員会は、現在意見を吸い上げて、対応を検討している段階。

・長時間勤務に関する数値が改善に向かっている。

・授業や部活動で地域との連携をしているが、これについてはまだ限定的である。

質問や意見は特になし。

(2)めざす学校像に変更なし。

令和6年度との変更点について説明した。

(質問(感想含む))

・日本語指導が必要な帰国生徒、外国人生徒選抜で入学していないが、日本語指導が必要な生徒の増加と対応について

→外国ルーツの生徒に対する対応の充実について説明

・小中連携・高大連携をこれからもぜひ進めてほしい。

・進路関係の情報提供や広報など頑張っている。しかし、存続が危ぶまれる高校に中学校側は憂いている。八尾北の良さをもっと伝えたいのに……。

・(中学校の)生徒は高校のWebページを見ていない。

・保護者として、八尾北としての昔からの良さが残っている部分があれば、時代に合わせ変わっている部分もある。